



2025年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年1月10日

上場会社名 株式会社農業総合研究所 上場取引所 東
コード番号 3541 URL <https://www.nousouken.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役会長CEO (氏名) 及川 智正
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 坂本 大輔 TEL 03-6417-1047
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年8月期第1四半期の業績（2024年9月1日～2024年11月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年8月期第1四半期	1,944	16.4	66	94.1	68	96.7	70	142.6
2024年8月期第1四半期	1,670	17.6	34	△34.9	34	△35.7	29	△25.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年8月期第1四半期	3.21	—
2024年8月期第1四半期	1.32	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在していないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年8月期第1四半期	2,827	1,103	39.0
2024年8月期	2,665	1,032	38.7

(参考) 自己資本 2025年8月期第1四半期 1,103百万円 2024年8月期 1,032百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年8月期	—	—	—	—	—
2025年8月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
2. 2025年8月期の配当予測につきましては、現在未定であります。

3. 2025年8月期の業績予想（2024年9月1日～2025年8月31日）

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,300 ～8,000	1.1 ～10.8	110	17.5	110	8.1	75	△31.0	3.41

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は、年次での業績管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の業績予想の記載を省略しております。2025年8月期の個別業績予想についてはレンジ形式により開示しております。詳細は添付資料（P.3「1.経営成績等の概況

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」）をご覧ください。

※ 注記事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年8月期1Q	22,025,900株	2024年8月期	22,025,900株
② 期末自己株式数	2025年8月期1Q	4,271株	2024年8月期	4,271株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年8月期1Q	22,021,629株	2024年8月期1Q	22,021,930株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料（P.3「1.経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」）に記載しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	7
(重要な後発事象)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

近年の全国農業総産出額は、米、野菜、肉用牛等における国内外の需要に応じた生産の進展等を背景に、9兆円前後で推移しております。2023年の農業総産出額は、米の需要が堅調に推移したことや野菜の生産量減少による価格上昇、鳥インフルエンザの影響により鶏卵価格が上昇したこと等から、前年に比べ4,981億円増加し、9兆4,991億円となりました。また、近年の生産農業所得は、全国農業総産出額の増減はあるものの、3兆円台で推移しております。2023年は、農産物の価格が上昇したこと等により、前年に比べ1,880億円増加し、3兆2,930億円となりました。(出典：農林水産省「生産農業所得統計」)。他方で、2024年2月時点の農業経営体数88万3千経営体のうち、個人経営体は84万2千経営体で、前年に比べ5.2%減少した一方、団体経営体は4万1千経営体で0.7%増加し、団体経営体のうち、法人経営体は3万3千経営体で前年に比べ1.2%増加しております(出典：農林水産省「農業構造動態調査」)。農業経営体の減少が続く中、法人化や規模拡大の進展が継続し、農業集約化の動きが加速しております。

当第1四半期累計期間における青果価格は、猛暑や天候不順の影響により、平年に比べ高い水準で推移してまいりました。一方、当第1四半期累計期間におけるスーパーマーケットにおける青果物の販売動向は、円安やエネルギーコスト上昇による消費者心理減退の懸念があるものの、相場高の影響により単価が上昇し、前年に比べ増加いたしました。

このような環境のもと、より多くの生活者に「おいしい」をお届けするために、当社の主たる事業である農家の直売所事業及び成長事業である産直卸事業を推進いたしました。また、ドラッグストアへの販路拡大等、新しい農産物流通の創造に向けた取組の深化を進めてまいりました。各種値上げ等のコスト増が見込まれる環境においても利益が確保できるよう、青果の相場高を追い風に販売単価向上や適量納品等の利益率向上施策を実施し、事業基盤の強化に努めました。

このような取組の結果、流通総額は4,195,204千円(前年同四半期比10.3%増)、2024年11月末日時点でスーパーマーケット等の国内小売店への導入店舗数は2,132店舗(前事業年度末より26店舗増)、農産物の集荷拠点である集荷場は82拠点(前事業年度末より1拠点増)、登録生産者は10,370名(前事業年度末より58名増)となりました。

当第1四半期累計期間の経営成績は、売上高は1,944,364千円(前年同四半期比16.4%増)、営業利益は66,611千円(前年同四半期比94.1%増)、経常利益は68,321千円(前年同四半期比96.7%増)、四半期純利益は70,734千円(前年同四半期比142.6%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①農家の直売所事業

農家の直売所事業では、当社及び業務委託先が運営する集荷場で登録いただいた生産者から農産物を出荷し、原則翌日にスーパー等の「産直コーナー」で販売する独自の流通プラットフォームを提供しております。

当第1四半期累計期間は、既存委託販売先との取引維持・拡大に加え、登録生産者獲得のため、集荷場を拠点とした営業活動を行ってまいりました。青果相場高の環境のもと、スーパーでの豊富な品揃えを実現するため、品目バランスを考慮した買取委託の増加、適量納品、販売単価の向上、兵庫の集荷場における登録生産者からいただく出荷手数料の改定等、利益率向上施策に取り組み、事業基盤の強化に努めました。

これにより、流通総額は3,587,988千円(前年同四半期比9.6%増)、流通点数は15,458千点(前年同四半期比1.9%増)、売上高は1,355,501千円(前年同四半期比18.2%増)、セグメント利益は223,330千円(前年同四半期比27.6%増)となりました。

②産直卸事業

産直卸事業では、当社が生産者から直接農産物を買取り、商品の「パッケージ」、売場の「POP」、生産者のおすすめ「レシピ」などで商品の付加価値を可視化し、スーパー等の通常の青果売場である「青果コーナー」で販売しております。

当第1四半期累計期間は、スーパー等の取引先の旺盛なニーズに対応するため、引き続き、全国の産地や市場との連携により商品供給を強化し、既存取引先中心に取引を拡大いたしました。また、新しい農産物流通の創造に向け、青果コーナーにおいて委託販売システムを利用した取組を開始いたしました。

これにより、流通総額は607,216千円(前年同四半期比14.5%増)、売上高は588,863千円(前年同四半期比12.4%増)、セグメント利益は984千円(前年同四半期比88.1%減)となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末と比べ161,923千円増加し、2,827,356千円となりました。

流動資産は、前事業年度末と比べ149,583千円増加し、2,160,660千円となりました。これは主に現金及び預金の増加32,228千円、売掛金の増加90,737千円、商品の増加25,541千円、その他流動資産の増加1,661千円等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末と比べ12,339千円増加し、666,695千円となりました。これは有形固定資産の減少2,271千円、無形固定資産の減少4,031千円、投資その他の資産の増加18,641千円によるものであります。

当第1四半期会計期間末における負債は、前事業年度末と比べ91,188千円増加し、1,723,930千円となりました。

流動負債は、前事業年度末と比べ100,961千円増加し、1,437,161千円となりました。これは主に買掛金の増加78,752千円、短期借入金の減少4,998千円、未払金の増加7,608千円、未払法人税等の減少4,442千円、賞与引当金の増加20,682千円、その他流動負債の増加3,358千円によるものであります。

固定負債は、前事業年度末と比べ9,773千円減少し、286,768千円となりました。これは長期借入金の減少11,766千円、その他固定負債の増加1,992千円によるものであります。

当第1四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末と比べ70,734千円増加し、1,103,425千円となりました。これは利益剰余金の増加70,734千円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2024年10月15日の「2024年8月期 決算短信」で公表いたしました業績予想に変更はありません。

当事業年度の青果価格は天候不順や猛暑による影響等で平年よりも高い水準で推移することが予想されます。

そのような外部環境の中、当社の主たる事業である農家の直売所事業では、前事業年度に開設した店舗が通年で寄与することに加え、集荷場の開設及び機能拡大や加工・物流センターの拡充により、供給力の強化を進めてまいります。産直卸事業では、主要産地との連携や需給調整のシステム化を推進し、既存取引先への営業を強化してまいります。加えて、スーパー以外の販路での販売エリア・店舗数・品目を拡大し、流通総額の伸長を図ってまいります。

以上により、2025年8月期の業績見通しにつきましては、流通総額16,500,000千円～17,500,000千円（前事業年度比5.0%～11.3%増）、売上高は7,300,000千円～8,000,000千円（前事業年度比1.1%～10.8%増）、営業利益110,000千円（前事業年度比17.5%増）、経常利益110,000千円（前事業年度比8.1%増）、当期純利益75,000千円（前事業年度比31.0%減）を見込んでおります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年8月31日)	当第1四半期会計期間 (2024年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	779,433	811,661
売掛金	1,192,013	1,282,751
商品	25,613	51,154
その他	21,062	22,724
貸倒引当金	△7,046	△7,632
流動資産合計	2,011,076	2,160,660
固定資産		
有形固定資産	78,020	75,748
無形固定資産	84,390	80,359
投資その他の資産	491,945	510,587
固定資産合計	654,356	666,695
資産合計	2,665,433	2,827,356
負債の部		
流動負債		
買掛金	920,690	999,443
短期借入金	30,028	25,030
1年内返済予定の長期借入金	47,064	47,064
未払金	189,143	196,752
未払法人税等	5,686	1,244
賞与引当金	50,964	71,647
その他	92,621	95,980
流動負債合計	1,336,199	1,437,161
固定負債		
長期借入金	281,235	269,469
その他	15,306	17,299
固定負債合計	296,541	286,768
負債合計	1,632,741	1,723,930
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	849,128	849,128
利益剰余金	133,625	204,360
自己株式	△243	△243
株主資本合計	1,032,511	1,103,245
新株予約権	180	180
純資産合計	1,032,691	1,103,425
負債純資産合計	2,665,433	2,827,356

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)
売上高	1,670,784	1,944,364
売上原価	855,303	1,018,254
売上総利益	815,481	926,109
販売費及び一般管理費	781,155	859,498
営業利益	34,326	66,611
営業外収益		
有価証券利息	—	666
受取賃貸料	240	240
受取保険金	492	709
その他	274	749
営業外収益合計	1,006	2,365
営業外費用		
支払利息	577	655
その他	21	—
営業外費用合計	598	655
経常利益	34,733	68,321
特別利益		
関係会社株式売却益	10	—
特別利益合計	10	—
特別損失		
固定資産売却損	—	1,920
特別損失合計	—	1,920
税引前四半期純利益	34,743	66,400
法人税、住民税及び事業税	1,478	1,419
法人税等調整額	4,114	△5,753
法人税等合計	5,592	△4,333
四半期純利益	29,151	70,734

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)
減価償却費	15,651千円	16,237千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	農家の直売所 事業	産直卸事業	計		
売上高					
委託販売システム	473,933	—	473,933	—	473,933
買取委託販売	612,294	—	612,294	—	612,294
卸販売	—	523,874	523,874	—	523,874
その他	60,682	—	60,682	—	60,682
顧客との契約から生じる収益	1,146,910	523,874	1,670,784	—	1,670,784
外部顧客への売上高	1,146,910	523,874	1,670,784	—	1,670,784
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,146,910	523,874	1,670,784	—	1,670,784
セグメント利益	175,059	8,293	183,352	△149,026	34,326

(注) 1. セグメント利益の調整額△149,026千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用149,026千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期累計期間(自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	農家の直売所 事業	産直卸事業	計		
売上高					
委託販売システム	490,404	1,524	491,929	—	491,929
買取委託販売	801,903	9,613	811,517	—	811,517
卸販売	—	577,725	577,725	—	577,725
その他	63,193	—	63,193	—	63,193
顧客との契約から生じる収益	1,355,501	588,863	1,944,364	—	1,944,364
外部顧客への売上高	1,355,501	588,863	1,944,364	—	1,944,364
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,355,501	588,863	1,944,364	—	1,944,364
セグメント利益	223,330	984	224,315	△157,703	66,611

(注) 1. セグメント利益の調整額△157,703千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用157,703千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。